



下水道使用料の値上げ

議会は「苦渋の判断」



新年あけましておめでとうございます。今年も「市民の目線で」ガンバります!

昨年の十二月定例市議会に、市長から「平成二十一年四月から下水道使用料を平均で二〇・四%引き上げる」ことが主な内容の下水道条例の一部改正案の提案がありました。

値上げの理由は

理事者の説明によると、
①本市の公共下水道事業は、約一二〇〇億円の投資により建設された。
その財源のほとんどが、
国・府の補助金と地方債(借

金)で、地方債残高が約六七〇億円残っている。
今後元利償還金が増えて、下水道財政は益々厳しくなる。

②これまで、一般会計からの基準外繰り入れ等によって下水道財政を維持してきたが、国・府から「独立採算の原則を踏まえ、受益者負担の適正化を図るよう」強く指導されており、このままではペナルティを受けることになる。

③市の人口減少や少子高齢化、生活様式の変化等によって、使用料収入は伸び悩んでおり、累積赤字が増加し、使用料の改訂は避けて通れない状況である。

なぜ、この時期に?

この条例案に対して、建

設水道常任委員会の各委員から「下水道財政については一定の理解をするが、この厳しい社会情勢の中で更に負担を求めることは、市民の皆さんの理解が得られないのではないか」などの意見が多く出されました。

付帯決議をつけて可決

そして、二日間にわたる審議の結果「いま値上げをしなければ、近い将来、確実に四〇%近くの値上げをしなくてはならないことになる」との判断から、議会としては、

①低所得者等の負担軽減を講ずること。

②事務事業の更なる見直しを図り、上・下水道のあり方等についても抜本的な検討を行うこと。

の付帯決議をつけて、賛成多数で可決しました。

「平和無防備都市条例案」は否決

また、市民から七、二七四人の有効署名により直接請求があった「寝屋川市平和無防備都市条例の制定」については、十二月定例市議会に、馬場市長の意見書を付して条例案が上程されました。

そして、総務常任委員会で審議の結果、「平和を願う多くの市民の思いは重く受け止めるが、防衛は国の管轄事項であり、市の条例化には馴染まない」として、条例案は賛成少数(2人)で否決されました。

**第30回 山さんの
ミニ市政報告会**

○とき 1月24日(土)
午後7時30分～

○ところ 桜木町公民館

◎どなたでも お気軽にご参加ください!

十二月定例市議会

山さんの一般質問(要旨)

十二月一六日～一八日の三日間、十二月定例市議会の一般質問が行われました。

今回は三人中一人の議員が質問に立ち、市政全般にわたって市長や理事者の考えを質しました。

私は第一日目の六番目に質問に立ち、次の各事項について質問を行いました。

一・寝屋川市の今後の財政見通しについて

【山さんの質問】

最近の厳しい経済状況の中で、財政局は本市の今後の財政見通しをどのように考えているのか。また、どのように対処していく予定なのか。

【理事者答弁】

平成一九年十一月時点では平成二三年度末まで実質収支の黒字を確保できる見込みで



12月議会で一般質問をする山さん

したが、それ以降、大阪府財政再建プログラムの影響や国保財政健全化の問題など新たな課題も生じており、それらを考慮して試算すると、平成二三年度末では、約九億六〇〇〇万円程度の実質収支赤字が見込まれます。

その対処については、今後来年度予算編成に向けて、課題を整理する中で検討してまいります。

二・国民健康保険特別会計の健全化について

【山さんの質問】

平成一九年度の連結決算をみると、一般会計では約一億二三〇〇万円の黒字を計上したが、国民健康保険特別会計が約三七億八〇〇万円の赤字であったため、結果として全体で、約三八億六七〇〇万円の赤字となった。

市は、国保特別会計の赤字の原因と解消方法についてどのように考えているのか。

【理事者答弁】

赤字の原因については、高度先進医療等による医療給付費の増加と、加入者の高齢化・単身世帯化、収納率の低迷、調整交付金の減額などが大きなものです。

赤字解消については、収納率の向上や医療費適正化対策を推進し、単年度収支均衡を図るよう努めていきます。

また、今後も市長会を通して、国に医療保険制度の一本化の要望をしております。

山さんのコラム

男はいつも外食??

最近、妻が時々「男の人はいいわね。いつも外食で。」と言う。理由を尋ねると「男の人は家でも外でも、いつも出来上がったものを食べるだけがいいから。」それに比べると主婦は、朝から夕食の献立を考え、買い物をし、料理をして家族に食べさせ、最後に後片付けまでしなくてはならないのよ。」と言う。

以前はビールを飲みながら家族とゆっくり夕食をとる時間もあつたが、最近は忙しくて、妻とゆっくり食事をする時間も少なくなつた気がする。大いに反省である。

罪滅ぼしと言うわけではないが、先日の夕方いつもより早く帰宅したので、夕食の支度をし始めた妻に「久しぶりに二人で寿司でも食べに行こうか」と誘った。妻は嬉しそうに二つ返事でOKした。

久しぶりに、二人で『外食』を楽しんだ次第である。